平成28年4月度定例会見

平成28年4月5日

須崎市長　楠瀬耕作

高知県 須崎市

本日の会見内容

1、3月度の主な活動報告

2、3月定例市議会について

3、下水道革新的技術実証実験（B-DASHプロジェクト）の採択について

4、須崎市が「マンホールカード」発行～世界初のマンホール蓋コレクションカード

5、奥四万十博の開催について

6、土佐市民病院と

　『災害時の医療救護に関する協定』を締結

7、第129回高知県市長会議への提出議案について

8、須崎未来塾3期生募集について

9、地震・防災課からのお知らせ

10、イベント案内について

須崎工業高校卒業式

＊3月1日（火）
須崎工業高校

須崎高校卒業式

＊3月1日（火）
須崎高校

高幡広域市町村圏事務組合議会

＊3月2日（水）
須崎市道の駅

川北先生講演会
（地域自主組織結成に向けて）

＊3月3日（木）
浦ノ内公民館

須崎港事故処理委員会

＊3月4日（金）
市役所

佐川町制施行60周年記念式典

＊3月5日（土）
佐川町

土佐市・仁淀川町・越知町・佐川町訪問

＊3月10日（木）
各市町

高知ペットビジネス専門学校卒業式

＊3月11日（金）
須崎プリンス
ホテル

高知県救急医療情報センター理事会

＊3月11日（金）
高知市

須崎中学校卒業式

＊3月12日（土）
須崎中学校

明徳義塾高校
センバツ高等学校野球大会出場壮行会

＊3月13日（日）
明徳義塾高等学校

皿鉢レボリューションin須崎

＊3月13日（日）
市内

農林水産省・環境省出張

＊3月15日（火）
東京都

↑環境.内閣府大臣政務官　白石徹代議士

高知県須崎市

寺田砂利様への感謝状授与式

＊3月16日（水）
市役所

四万十町合併10周年記念式典

＊3月20日（日）
四万十町

高知大学卒業式

＊3月23日（水）
高知市

尾﨑知事による奥四万十博視察

＊3月23日（水）
安和地区

土佐市との救急相互応援協定式

＊3月24日（木）
土佐市役所

須崎商工会議所総会

＊3月24日（木）
商工会議所

ほんものフォーラムin高知

＊3月25日（金）
26日（土）
四万十市・須崎市

上分公民館リニューアルオープン

＊3月27日（日）
上分公民館

高幡東部清掃組合議会

＊3月28日（月）
中土佐町

まち・ひと・しごと創生総合戦略
すさきがすきさ産業振興計画フォローアップ会議

＊3月28日（月）
市役所

須崎地域安全協会森光様表彰授与式

＊3月29日（火）
市役所

須崎ロータリークラブ卓話

＊3月29日（火）
須崎プリンスホテル

I LOVE DOGS会 2016春

＊3月30日（水）
高知市

市職員退職者を送る会

＊3月31日（木）
市役所

日本トリム・高知大学医学部との打合

＊3月31日（木）
南国市

３月定例市議会について

【開 会 日】　３月２日（水）
【一般質問】　８日（火）・９日（水）
【委 員 会】〔総務委員会〕　１１日（金）
〔産業建設委員会〕１４日（月）
〔教育民生委員会〕１５日（火）
【閉 会 日】１７日（木）
【提出議案】　３７議案

◎条例の一部改正に関する議案　（16議案）
◎平成28年度一般、特別会計等予算議案　（11議案）
◎平成27年度一般、特別会計等補正予算議案（7議案）
◎その他の議案　（3議案）

下水道革新的技術実証実験（B-DASエプロジェクト）に採択されました！

国水下企第 117 号
平成２８年３月２３日

三機工業（株）
東北大学
香川高等専門学校
高知工業高等専門学校
日本下水道事業団
須崎市　　御中

国土交通省水管理・国土保全局長

平成 28 年度下水道革新的技術実証事業公募の審査結果について（通知）

平成 28 年度下水道革新的技術実証事業公募に対し、貴殿より応募のあった事業案件について、下水道革新的技術実証事業評価委員会による審査を経て下記の通り決定しましたので通知します。
なお、委託契約については、国土技術政策総合研究所からご連絡します。

記

１．審査の結果
　　採用

２．件名
　　ＤＨＳシステムを用いた水量変動追従型水処理技術実証事業

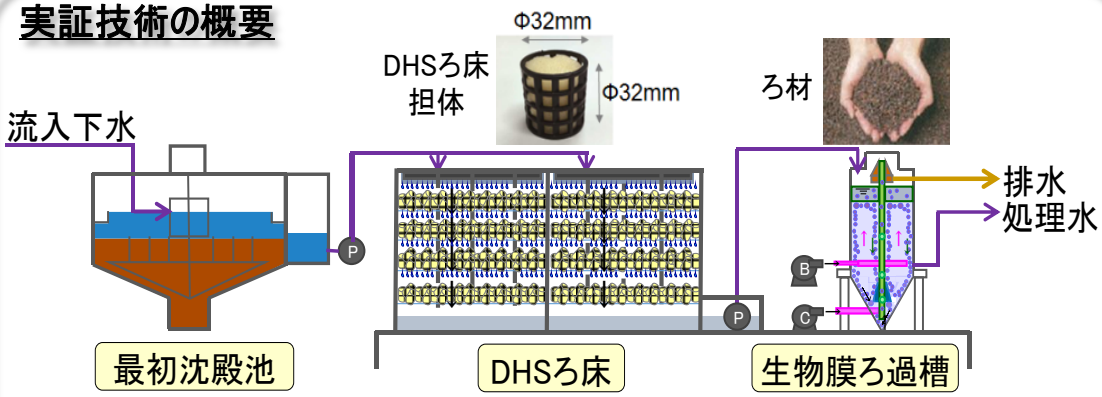
DHSシステムを用いた水量変動追従型水処理技術実証事業

事業実施者
三機工業㈱・東北大学・香川高等専門学校・高知工業高等専門学校・日本下水道事業団・須崎市 共同研究体

実証フィールド
須崎市終末処理場（高知県須崎市）

実証の概要
人口減少社会に適応すべく、「スポンジ状担体を充填した新規の散水ろ床（DHSろ床）」と「生物膜ろ過槽」を組み合わせることにより、効率的にダウンサイジングが可能な水処理技術について、①ライフサイクルコストの縮減効果、②流入水量減少に対する処理コストの追従性、③維持管理の容易性、④処理性能の安定性を実証する。

実証技術の概要



DHSを使用した新規の散水ろ床
～曝気不要の省エネルギー型水処理方式～
①曝気不要である → **省エネルギー**
②担体がスポンジ状で保水性がある
→ **処理性能安定化・流量低下時水質向上**
③スポンジ内に高濃度汚泥を保持
→ **汚泥発生量の削減**
④維持管理項目が少ない → **維持管理が容易**
⑤担体の閉塞が生じない → **処理性能安定化**

移動床式好気性リアクター
～仕上処理～
①ろ材表面に微生物が高密度に付着
→ **処理水質が安定**
②ろ過と生物処理を同時に実施 → **省スペース**
③逆洗なしで担体洗浄
→ **連続処理が可能**

実証技術の革新性等の特徴

【革新性】
- 流入水量減少に応じて、しなやかに電力使用量等のライフサイクルコストの削減が可能
- 流入水量減少に応じて処理水質が自ずと向上
- 流入水量に合わせて処理能力の調整が可能
- DHSろ床と生物膜ろ過槽の組合せにより標準法同等の処理水質を確保
- 標準法の既設反応タンク内に設置可能
- 要求水質に合わせたユニットプロセスの組合せが自由

【導入効果】
- ライフルサイクルコストの縮減による下水処理場の経営改善
- 流入水量減少に追従した処理コストの削減による汚水処理原価の縮減
- 維持管理の容易化による技術人員不足の解消

NEWS RELEASE

SANKI ENGINEERING CO., LTD

２０１６年 ４月６日

国土交通省実施の下水道革新的技術実証事業に当社提案が採用

—流入下水量の減少に対応したダウンサイジング可能な水処理技術—

三機工業株式会社（代表取締役社長：長谷川勉）は、国土交通省が実施する下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）※に当社を含む 6 者からなる共同研究体※で「DHS システムを用いた水量変動追従型水処理技術実証事業」を提案し、平成 28 年度の実施事業として採択されました。

本実証事業では、人口減少・財政脆弱・技術者不足等の問題をかかえる中小規模の標準活性汚泥法の下水処理場の事業経営改善を目的として、「スポンジ状担体を充填した新規の散水ろ床（DHS ろ床）」と「生物膜ろ過槽」を組み合わることにより、効率的にダウンサイジングが可能な水処理設備の建設・運転・実証実験を須崎市終末処理場にて行います。

【システム概要】

当システムは、ＤＨＳろ床と生物膜ろ過槽の２段階で構成されています。

ＤＨＳろ床は、保水性のあるスポンジ状単体を使用して無曝気で生物処理するものであり、流入水量の変化に応じてスポンジ量やユニット数を調整することが可能です。

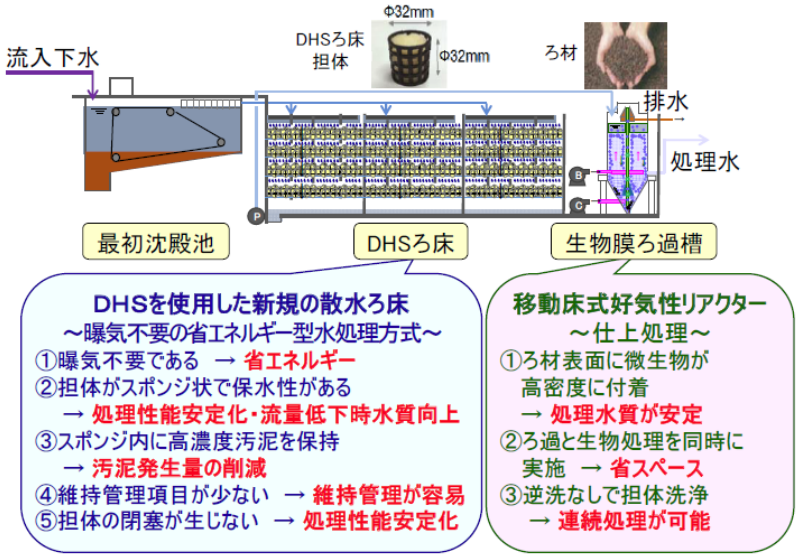
生物膜ろ過槽は、ＤＨＳろ床の水温低下時期等における処理性能低下リスクを補うため、ＤＨＳろ床後段に設置するもので、ろ過および好気性生物膜処理を行います。

【システムの特長】

1. ＤＨＳろ床と生物膜ろ過槽の組合せにより標準法同等の処理水質を確保
2. 流入水量減少に合わせてユニット単位で処理能力の調整が可能
3. 標準法の既設反応タンク内に設置可能
4. 要求水質に合わせたユニットプロセスの組合せが可能

三機工業株式会社

【実証施設の概要】



※下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト：Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project）とは、国土交通省による、新技術の研究開発及び実用化を加速することにより、下水道事業におけるコスト縮減や再生可能エネルギー創出等を実現し、併せて、本邦企業による水ビジネスの海外展開を支援するための事業です。なお、B-DASH プロジェクトは、国土交通省国土技術政策総合研究所の委託研究として実施されます。

※共同研究体の構成

三機工業株式会社（代表取締役社長：長谷川勉）、須崎市（市長：楠瀬耕作）、
日本下水道事業団（理事長：谷戸善彦）、国立大学法人東北大学（総長：里見進）、
独立行政法人国立高等専門学校機構香川高等専門学校（校長：八尾健）、
独立行政法人国立高等専門学校機構高知工業高等専門学校（校長：濱中俊一）

お問合せ先：管理本部広報・ＩＲ部　福山　０３—６３６７—７０４１

三機工業株式会社

「マンホールカード」誕生！
世界初のマンホール蓋コレクションカード
４月１日、第一弾・全国 28 都市が、計 30 種類のカードを発行
須崎市でも、本年４月１日から配布開始

須崎市がマンホールカード発行

各地の路上を飾るご当地ものとして今大注目のマンホール蓋。各地のマンホール蓋を訪ね歩くファンが増える中、楽しみ方をさらに拡げるアイテム「マンホールカード」がこの春、満を持して登場します。

企画・監修は「下水道広報プラットホーム（ＧＫＰ）」。そのプロジェクトチームの１つである「マンホール・エンジョイ・プロモーション」（マエプロ）が中心となり、マンホールを管理する都道府県や市町村と共同で実現した、世界初のマンホール蓋のコレクションカードです。

近年、マンホール蓋は土地の歴史や観光名所のデザインに加え、地元のプロスポーツチームやマスコット、ゆかりの深いアニメキャラクターなど、地元に愛着のある絵柄が数多く採用されています。マンホールカードは、その全国各地の土地柄を反映した様々なデザインのマンホール蓋を採り上げ、その美しい写真とともに、デザインの由来やご当地情報、下水道に関連する豆知識などを紹介するものです。カードには、マンホール蓋の写真と位置情報を記載。ファンの訪ね歩きをサポートするとともに、ピクトグラムで収集の楽しさを演出します。

第一弾は、４月１日に全国 28 都市が計 30 種類（延べ６万枚）を同時リリース。その後、おおむね四半期に１度のペースで新規参画都市を含め新作を追加発行していく予定です。

カードの入手方法は、カードごとに指定された場所（各地の市役所等）に直接足を運ぶこと（郵送等では、配布いたしません）。一人・一枚、無料で進呈いたします。

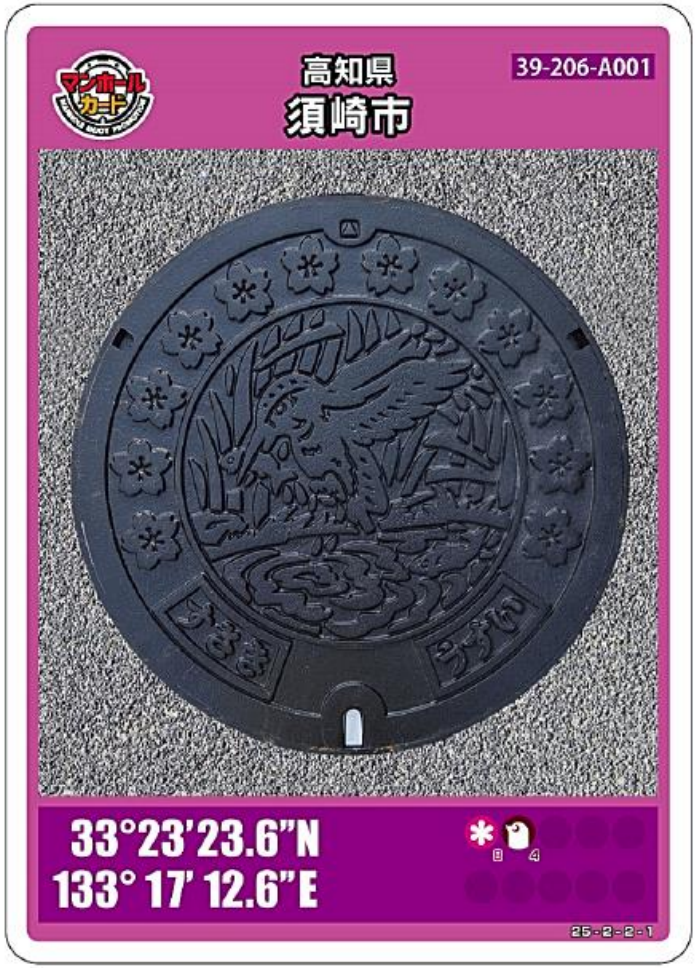
須崎市でも、第１弾発行の全国 28 都市のひとつとして、マンホールカードを発行します。配布方法等は下記のとおりです。

【配布場所の情報】

- 配布場所　　須崎市役所建設課（市役所本庁舎2階）
- 住　　所　　高知県須崎市山手町 1-7
- 連 絡 先　　0889-42-5193（建設課代表番号）
- 配布可能な日時　原則として、平日の 08:30～17:15。

※ただし、事前に来庁日時の連絡があった場合は、土日祝日でも、
08:30～17:15 の時間帯で、日直により配布可能。
- 配布できない日時等　08:30～17:15 以外の時間帯及び、年末年始の休暇中
- なお、来られるタイミングにより、欠品している場合があります。

※４/１に配布を開始、２日間で１０名の方々が、来庁。
内訳は、東京２名、愛媛県１名、県内７名。



H88×W63

デザインの由来

設置開始 1989年

カワセミ

ヤマザクラ

須崎市の花「ヤマザクラ」と鳥「カワセミ」をモチーフにして、デザインされています。
それまでのマンホール蓋は、単に市章を蓋の中心に置いたものでしたが、公共下水道事業に対する市民の意識向上を図るため、1989年からデザインマンホール蓋を使用することにしました。蓋の外周にヤマザクラの花を配置し、きれいな水環境に生息するカワセミを中心に置くことにより、公共下水道による生活環境（特に水環境）の改善をイメージできるデザインとしています。

1604-00-001

須崎市役所

©GKPマエブロ

平成28年3月10日(木)

マンホールカード導入都市【第１弾】

ブロック	県名	地域コード	都市名	第1弾
北海道	北海道	01100	札幌市	●
東　北	秋田県	05201	秋田市	●
	山形県	06203	鶴岡市	●
関　東	茨城県	08201	水戸市	●
	埼玉県	11100	さいたま市	●
		11208	所沢市	●
	東京都	13100	東京23区	●
		13201	八王子市	●
	神奈川県	14150	相模原市	●
		14201	横須賀市	●
北　陸	新潟県	15100	新潟市	●
中　部	長野県	20000	諏訪湖流域下水道	●
	岐阜県	21404	池田町	●
	静岡県	22210	富士市	●
	愛知県	23100	名古屋市	●
		23207	豊川市	●
近　畿	大阪府	27100	大阪市	●
		27140	堺市	●
		27227	東大阪市	●
	兵庫県	28100	神戸市	●
中　国	岡山県	33100	岡山市	●
		33202	倉敷市	●
	広島県	34100	広島市	●
四　国	高知県	39201	高知市	●
		39206	須崎市	●
		39211	香南市 Ver.1	●
			香南市 Ver.2	●
			香南市 Ver.3	●
九　州	福岡県	40100	北九州市	●
		40130	福岡市	●
TOTAL（種類）				**30**

2016

奥四万十博

四国カルストから土佐の大海原へ

Oku Shimanto

須崎市・中土佐町・四万十町・檮原町・津野町

2016.4.10 SUN - 12.25 SUN

2016 奥四万十博
四国カルストから土佐の大海原へ
Oku Shimanto

「奥四万十博」の魅力が一同に集結！楽しさいっぱいのイベントだよ！

4月10日 オープニング イベント開催!!

2016奥四万十博 オープニングイベント開催!

9:15 JR須崎駅発
奥四万十博 オープニング 特別車両出発!
0系新幹線をイメージした「鉄道ホビートレイン」が出発します。

4月10日(日) 9:30~16:00
マルナカ須崎店駐車場

餅投げ

「四万十」にちなんだ4俵10kgのもち米を使ってるんだよ!

イベントスケジュール

10:05	2016奥四万十博 開会宣言
10:10	高知中学高等学校吹奏楽部マーチング隊演奏
10:30	ご当地キャラステージ
11:00	4俵10kgの大餅投げ大会①
11:15	5市町郷土芸能①(津野町/津野山古式神楽、四万十町/仁井田米早食い)
12:00	海洋堂イメージガール はちきんガールズ ライブ
12:30	ご当地キャラステージ
13:00	「丸本莉子」奥四万十博ライブ 奥四万十博テーマソング
14:00	5市町郷土芸能②(よさこい演舞/なかとさもん・よさこい檮原・すさき~真実(まこと)~)
14:45	4俵10kgの大餅投げ大会②
15:30	ご当地キャラ大集合&フィナーレ

1日限り!! ご当地グルメ一挙大集合!!

奥四万十地域自慢の味をお楽しみください!

丸本莉子ライブ

全国で活躍中!
奥四万十博の
テーマソングも歌う
今話題の
注目シンガー!!

はちきんガールズ ライブ

海洋堂イメージガールとして大活躍!
はちきんガールズ
ステージショー

2016奥四万十博推進協議会 TEL.0889-59-5225
高知県須崎市下分甲263-3
(道の駅かわうその里すさき隣)

奥四万十博 検索

全国のご当地キャラがやってくる！

奥四万十グルメ・物産ゾーン

奥四万十の美味しい物、お土産もいっぱい!!

須崎市

中土佐町

四万十町

梼原町

津野町

奥四万十ライブ体験ゾーン

奥四万十の魅力が詰まった1日だけのテーマパーク!!

須崎市

★カヌー体験 ★刃物作り体験

中土佐町

★タタキ体験 ★火振り漁体験

四万十町

★うなぎつかみ取り
★新聞バッグ作り

梼原町

★紙すき体験 ★脱藩ウォーク
★セラピーロード

津野町

★神楽体験
★トゥクトゥクに触れてみよう

※イベントの実施内容及び演目は変更になる場合があります。予めご了承ください。

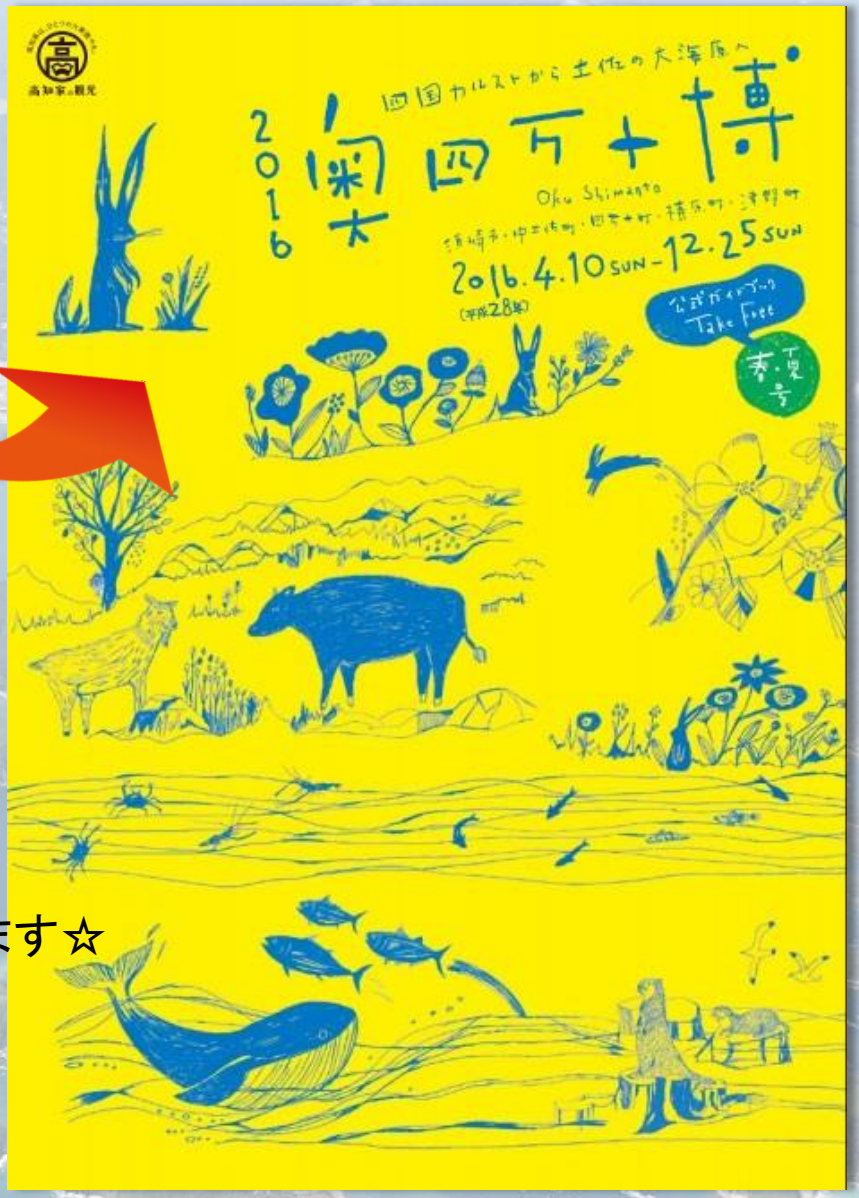
2016 奥四万十博

・ガイドブック（春・夏号）絶賛配布中☆

・奥四万十博HP、５市町ブログ随時更新中☆

・奥四万十博サポーター1,000名を突破☆

・奥四万十博限定メニュー提供店も増えています☆



土佐市民病院と『災害時の医療救護に関する協定』を締結

[日時] 平成28年4月6日（水）
午後2時～
[場所] 土佐市民病院

須崎市 → 救護病院として指定 → 高陵病院

救護病院として指定
災害時には近隣の医療に医療救護活動を要請する必要がある
→ 土佐市民病院

第129回高知県市長会議への提出議案について

高知県市長会議～年間二回開催
春⇒国への要望　秋⇒県への要望
一市3議案まで提出できる

第129回高知県市長会議　平成28年4月20日土佐清水市で開催

須崎市提出議案

1、地域経済に大きな影響をもたらす港湾整備の充実について
2、津波防災地域づきりに関する法律における津波防災拠点事業の要件緩和について
3、普通交付税の算定方法にトップランナー方式を導入することについて

「須崎未来塾」三期生募集!!

「須崎未来塾」三期生の募集です

一期生、二期生も活躍しています。

須崎市では、「持続可能なすさきづくり」を目指して、消費ではなく創費（自らの労力などを費やして創り出すこと）のできる人材育成に取り組んでいます。いろいろな分野・いろいろな所で頑張っている皆さん！須崎未来塾で「まなび・たのしみ・つながる」体験をしませんか。そして、塾生の仲間と一緒に須崎市の元気な未来を創造しましょう！

- ●入塾資格：須崎が好きな人　やる気のある人
- ●受 講 費：無料
- ●会　　場：須崎市内各所
- ●授 業 日：平成28年5月から平成29年3月までのうち7回（1回2日間）午前9時から午後4時まで
- ●受講内容：すさきフィールドワーク（まちなか・久通・安和）地域観光論・マーケティング論・地域ブランド論・地域づくり主体形成論

修了後は「須崎市地域再生マネージャー」として、地域を元気にする人財として活躍していただきます。

詳細は須崎市役所ホームページでご覧いただけます。

第3期 須崎未来塾

受講生募集

日本全国で活躍している強力な講師陣が須崎に集結!!

お問い合わせ：須崎市役所 元気創造課 元気創造係

〒785-8601 高知県須崎市山手町１番７号　TEL:0889-42-3951 FAX:0889-42-7320

須崎未来塾3期生募集中！

年間計画表（平成28年度・第3期生）

回	科目・内容	講師・担当者
第1回（6月）	開会式・自己紹介等 グループワーク「須崎の地域資源」 新しい社会デザイン・マーケティング・プロジェクト研究の課題設定 地域産業体験・刃物打ち	市長・森賀・望月・上野
第2回（7月）	安和フィールドワーク 安和フィールドワークまとめ 阿波町での私の取組・シーカヤック体験 安和地域の産業や取り組み	森賀・井原
第3回（9月）	プロジェクト課題の意見交換 まちなかフィールドワーク 儲かる店舗づくり クリエイティブな地域づくり	森賀・神谷・前神
第4回（10月）	条件不利地域の生き残り戦略 フィールドワーク久通 移住推進 養殖魚・野見湾での取組	井上・森賀
第5回（11月）	プロジェクト課題の意見交換 観光まちづくりと移住・古民家再生 四国の中の須崎・食の地域展開 買い物困難地域の取組・水産加工	森賀・川井・丁野・冨田・武知・大崎・山下・難波江・清家・山内
第6回（2月）	プロジェクト研究意見交換 1期生・2期生・活動団体発表交流会 地域おこし協力隊員・現元との発表交流会 地域づくり主体形成論	森賀・池田・森隆・森智子
第7回（3月）	塾生発表会 修了記念フォーラム	市長・望月・森賀

森賀　盾雄

1972年　岡山大学法文学部
経済学科卒業以後、
新居浜市職員として、
商工観光課長・国保課長
情報政策課長・経済部総括次長・市民部長などを歴任（36年間）。
この間、地域づくり・産業おこし等の市民活動を展開する。大学教授を経て地域人材育成を進めている。

1992年	日本青年会議所まちづくり応援室インストラクター。
1996年	日本青年会議所地域主権委員会アドバイザー。
1992－3年	愛媛県「県民のための地域づくり懇談会専門部会員。
2003年	観光カリスマに選定。
2004年	日本ミュージアム・マネージメント学会賞受賞。
2006年～	日本ミュージアム・マネージメント学会 及び日本地域資源学会理事。
2008年～	（財）都市農山漁村グリーンツーリズムサポーター 観光地域経営フォーラム・アドバイザリーボード。
2008年4月	愛媛大学農学部客員教授。
2009年	経済学博士学位取得（松山大学）。
2010年10月	愛媛大学農学部教授。
2012年7月～	須崎未来塾塾長。他の所属・・文化経済学会＜日本＞ 日本地域経済学会,日本産業技術史学会 NPO法人エコロジーカフェ愛媛事務所長 四国地区エコステージ研究会理事長等

長年、市行政の内部と外部を結び、研究会や市民団体を組織して、地域づくり・産業おこしに取り組んできた。それらの成果を生かして全国で講演・地域づくりの支援・アドバイスを行ってきた。とりわけ地域資源を活かした地域づくり・産業遺産の活用・産業観光・NPO活動で実績を残している。現在は愛媛大学農学部において教育・研究を進めており、環境・農山漁村の地域再生や起業論をも対象としている。幅広い分野での取組となっている。テーマとしては「地方工業都市の産業文化創造都市への発展」「産業遺産を活用した地域づくり」「産業観光を進めるポイント」「地域資源の発掘と活用方法」「これからの地域づくりの主体形成とマネジメント及びマーケティング」「地域起業マネジメント」等である。

丁野朗

1950年高知県生まれ。
1973年同志社大学卒業後、
マーケティング及び環境政策の
シンクタンクを経て、1989
年（財）余暇開発センター入所。
2002年に（財）社会経済生産性本部に移籍。
「ハッピーマンデー（祝日の月曜日指定）制度」の創設やサマータイム制度、バカンス制度などの提唱と実現化に係る事業推進をはじめ、産業観光などの地域振興事業、『レジャー白書』の編集・発行事業などに携わる。

2007年に「観光地域経営フォーラム」（事務局・日本生産性本部）を創設、2008年に（社）日本観光振興協会（2011 年に組織名変更）に移籍。現職。

政府の「観光圏整備事業検討会委員」「インバウンド医療観光研究会委員」（以上観光庁）、「関東運輸局・観光地域づくりアドバイザリー会議座長」「地方鉄道再生・活性化研究会委員」（国土交通省）、「産業遺産活用委員会委員」「ラグジュアリートラベルマーケット委員会委員」「関東経済産業局・観光手法による地域経済活性化調査委員会委員長」（以上経済産業省）、「オーライ！ニッポン会議企画委員長」「食文化活用・創造事業検討会委員」（農林水産省）などの関係省庁や北海道庁、兵庫県、富山県、高知県など、都道府県の観光ビジョン委員等として各種政策形成に係わっている。高知県観光特使・富山県観光大使など。

その他、（社）スポーツ産業団体連合会理事・事業部会長、（社）日本ボウリング場協会理事、日本商工会議所観光専門委員会委員、「カーたび推進機構」幹事・事務局長、（社）車両情報センター評議員、（財）地域伝統芸能活用センター理事、余暇・ツーリズム学会理事などもつとめる。

上野祐子

株式会社 上野流通戦略研究所
代表取締役 上野 祐子

鹿児島市出身。
奈良女子大学大学院修士課程修了。
国立大学法人愛媛大学客員教授。
国立大学法人奈良女子大学前監事　グンゼ株式会社前取締役

1981年デザイン企画・販売促進・調査を主とするマーケティング会社起業。企業向け消費財・産業財マーケティング戦略・商品開発やブランド戦略・CI構築を専門とする。1996年自治体地域振興計画策定分野で東北・近畿・中四国エリア等全国事業展開。その後調査研究・産学官連携推進支援分野に進出。「共創」による地域づくりと地域ブランド戦略をめざす「地域マーケティング分野」を切り拓く。実践的な総合マーケティング戦略・市場販路開拓・広報PRを戦略的に展開。海外マーケティング及び技術分野マーケティング支援にも取り組み始めた。

・経済産業省資源エネルギー庁 原子力立地地域振興計画審査委員
・兵庫県　農林水産政策審議会委員・農林水産企画部会委員
・高知県 産業振興推進総合支援事業費補助金審査会審査委員
・和歌山県 企業.ソムリエ会議委員
・国立大学法人愛媛大学 客員教授（専門 地域マーケティング）　（現職その他多数）
・(財)伝統的工芸品産業振興協会伝統的工芸品プロデューサー（平成13年～）
・愛媛県「伊予観光大使 (いよかん大使)」（平成14年～）
・(株)日刊工業新聞社「キャンパスベンチャーグランプリ」審査委員（平成15年～）
・(社)食糧需給センター　食農連携コーディネーター（平成19年～）
・中四国・近畿・北陸農政局6次産業化プランナー（平成23年～）
・高知県産業振興アドバイザー（平成20年～）

主な講演・パブリシティ

・愛媛県「営業力強化に向けて～地域マーケティング強化戦略～」(2013.10.)
・政策投資銀行南九州支店「持続可能な鹿児島の発展に向けて」(2013.2.)
・南日本新聞社移動座談会「持続可能な鹿児島の発展にむけて」(2012.1.)
・韓国ビジネスセンター(KOTRA)「漢方マーケティングと商品開発」(2011.11.)
・高知県四万十市「商品開発とマーケティング」(2011.2.)
・関西活性化連続公開シンポジウム実行委員会・阪神高速道路株式会社
「個性を活かし結合する新圏域づくり」ミッシングリンク解消へ　ー地域を結び、異業種をつなぐー» 建設新聞 2009年12月4日
・湖東繊維市場化・商品化セミナー(2010.3)・・・テーマ：湖東繊維産業マーケティング
・滋賀県感性産業セミナー(2009.10)・・・テーマ：感性訴求商品・サービス開発
・'超'モノづくりへの挑戦 (2007.10)・・・日刊工業新聞社

井上弘司

1952年　長野県飯田市上郷生まれ
2004年　飯田市産業経済部エコツーリズム推進室
2005年　飯田市産業経済部担当　企画幹
2007年　飯田市企画部　企画幹
2008年3月　飯田市退職
2008年4月　地域再生診療所設立
2008年8月　しんきん南信州地域研究所主席研究員就任

国の認定等

観光カリスマ百選 H15.3（国土交通省）
地域中小企業サポーター H18.1（経済産業省・国土交通省）
地域活性化伝導師 H 19.3（内閣府）
地域力創造アドバイザー H20.4（総務省）
公益法人等の登録アドバイザー
食と農の応援団団員
日本生産性本部・地域観光フォーラム・アドバイザリーボード
都市農山漁村交流活性化機構（まちむら交流機構）評議員
子ども農山漁村交流プロジェクト・アドバイザー

業務実績（21年度分）

国県職員研修講師　農林水産省新任研修、観光部局職員研修
全国市町村国際研修所　ツーリズム担当市町村職員研修
現地指導　総務省委嘱業務（茨城県高萩市）
内閣官房委託業務（茨城県行方広域協議会）
厚生労働省関連業務（高知県四万十町、本山町）
ふるさと財団業務（石川県奥能登広域）
農林水産省北陸農政局の食育推進
子どもPJ受入研修指導　茨城県、山梨県、岐阜県、三重県、愛媛県、京都府、鳥取県、兵庫県、広島県、熊本県大分県、福岡県、富山県、島根県、福島県、宮城県、北海道
大学での講義　日本福祉大、和歌山大、同志社大、創成大、APUアジア太平洋大、愛知大、山形大

神谷 利徳

インテリアデザイナー
愛知県西尾市出身
名古屋造形大学客員教授。

略歴

名城大学附属高等学校、名城大学農学部を卒業後、独学で設計技術を学び、1987年に神谷デザイン事務所を設立。店舗、住宅、商業施設など1000件以上を手がける、名古屋大学、名古屋工業大学大学院での講師のほか、2002年4月にはフードビジネスや店舗デザイン等のためのスクール「So-Co(ソーコ)」を設立。主要作品に「名古屋・驛麺通り」(愛知)「養老サービスエリア(下り線)」(岐阜)「BALILax」(東京)「琉球村」(沖縄)など。「1000店をデザインした男」、「繁盛店請負人」……実に20年以上、業界の第一線を走り続けてきた。

主な受賞歴

1992年「嚆矢 母家」ナショップ賞受賞
1992年「純度99.99」日本商環境デザイン賞入選
1995年「壁の壁 名駅店」日本ディスプレイ賞入選
1996年「シェリョウ」松下ライティングコンテスト奨励賞受賞
1996年「奥志摩 栄店」日本商環境デザイン賞入選
1997年「A.I.R. AGE」松下ライティングコンテスト奨励賞受賞
1997年「萬料理 まなじ屋」日本商環境デザイン賞入選
1998年「にごり屋 竹侍郎」松下ライティングコンテスト奨励賞受賞
1999年「江戸焜炉 魚」デザイン名古屋ショーウィンドーコンペ
愛知名古屋ディスプレイ協同組合理事長賞受賞
2000年「伸」2000日本商環境設計家協会
デザイン賞レストラン部門入選
2001年「日常茶飯店 ちゃうちゃう伏見」JCDデザイン賞2001入選
2001年「一風堂 西通り店」、「五行」、「炭と皿 りらく食堂」」
CDデザイン賞2001入選
2002年 第1回CCDOデザイン・アオード2001受賞(個人で受賞)
2002年「GINZAあしべ」、「食彩和食 まんまや」JCDデザイン賞2002入選

望月照彦

多摩大学教授 / 都市プロデューサー

1943年 静岡県静岡市(元清水市)生まれ
1967年 日本大学理工学部建築学科卒業
1969年 日本大学理工学部大学院卒業
1977年 日本大学理工学部講師
1979年 望月照彦都市建築研究所設立
1989年 多摩大学経営情報学部教授
1990年 望月照彦研究所

現在 多摩大学経営情報学部教授・大学院教授
多摩大学大学総合研究所/コミュニティビジネス研究センター長
法政大学大学院、静岡文化芸術大学講師を兼任。

プロジェクト

都市創造、まちづくり、産業観光戦略、起業サポート、商店街再生、コミュニティビジネス育成、産業振興等、行政・民間のプロジェクトを多数手掛ける。

委員会等

コミュニティビジネス創業マニュアル策定委員会・委員長(関東経済産業局)、モダニズム遺産活用研究会・委員長(産業生産性本部・余暇総研)、東京都商店街活性化委員会委員長(東京都)、コミュニティ・ニューディル計画21研究会・委員長(都市基盤整備公団)、街なか遊歩街研究委員会・委員長(国土交通省)、中心市街地活性化事業の課題と具体化に関する調査・座長(広域産業圏産業活性化センター)等を歴任。

社会貢献

NPO神田学会理事長、NPOコミュニティビジネスサポートセンター理事、長野平成起業塾塾長(長野市)、世田谷商人塾塾長(世田谷区)等、に携わる。

専門研究分野

都市創造、コミュニティビジネス、地域観光創造、起業支援、地域産業振興、商業・商店街再生、イベント企画・演出等多面的に研究開発を行っている。

川井保宏

四国経済産業局
地域経済部　産業技術課長

KNS四国支部の世話人。
四国経済産業局という、経済産業省の四国支局で仕事してます。
経済の振興が仕事ですが、そんなことよりも、暮らし、生き方。
四国らしい暮らし、生き方を考える場、そして、人がつながる場。
そういうのが大事だと思ってます。

冨田敏

東京で生まれ、
幼少期はご両親のお仕事の関係で日本各地をひっこしした経験を持ち、大学卒業後、都内の広告代理店で猛烈サラリーマンをし、退職するときは営業部長として活躍していた。

リーマンショック後の大不況の際、大規模なリストラ実施の責任者を担当。そのときに自分と家族の将来を考え、独立を決意。 広告代理店を辞めた後、那須塩原で学習塾を開業しようと準備していた。那須塩原にゆかりがあった訳ではなく、学習塾のマーケットとして、魅力的だった。 しかし、3・11の大震災が起こり、原発事故の影響を考慮し、いったん白紙に。そんな中、地域活性化などのキーワードで検索したところ、「地域おこし協力隊」を知り、愛媛県伊予市へ。

22年間勤めた広告代理店を退社。伊予市の地域おこし協力隊に応募、採用され、奥さんと娘さんと共に11年7月に移住。「ここで暮らして良かった」「ここで穏やかな最後を迎えられる」をテーマに、地域の人々と共に活動。3年の任期終了後、市の要請で1年延長協力隊員として活躍。現在、伊予市に在住し事業展開を行っている。

前神有里

地域活性化センター
クリエイティブ事業室長

1989年愛媛県庁入庁。2004年度から高齢者虐待対策・地域包括ケアを担当。行政・専門機関の連携及び地域ネットワークの形成に取り組む。2007年度自治大学校第1部課程卒業。愛媛県高齢者虐待対応専門職チーム、地域に飛び出す公務員ネットワーク、地域に飛び出す公務員を応援する首長連合事務局等で活動。現在は、地域活性化センターに籍を置き、クリエイティブ事業室の仲間と共に、地域づくりのお手伝いをしています。

地震・防災課からのお知らせ

《平成28年度須崎市防災連合会総会の開催》

実施日	平成28年4月26日（火） 午後3時30分～
次　第	＊平成27年度活動報告 ＊平成28年度活動方針（案）及び 事業計画（案）、役員改選（案） ＊その他

《平成28年度地震・防災課の取り組み》

住宅の揺れ対策

- 住宅耐震診断・改修
- 家具転倒防止金具取付

自主防災組織の活動対策

- 自主防災組織の活動支援

避難路整備等の実施

- 地域から要望のあった避難路の整備
- 地域拠点場所等への防災倉庫の設置
- 避難誘導看板設置
- 地盤（海抜）表示板設置
- 避難誘導灯（ソーラー灯）設置工事

ブロック塀等耐震対策

イベント案内

４月１７日（日）

☆　第１８回
　　野見湾元気なお魚まつり

会場：大谷漁協前周辺

時間：午前９時～午後３時
（雨天決行：荒天の場合のみ中止）

内容：活魚・鮮魚、魚寿司、鯛めし等の販売や、野見湾内の養殖魚へのエサやり体験・タイ釣り体験・遊覧船乗船体験を開催します。

問合先：南公民館（TEL47-0624）